



蒲原生涯学習交流館



体験授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月30日(水)



「オンリーワンのものが出来上がったという達成感を味わうことができました。」

蒲原生涯学習交流館が、成人女性講座の一つとして、施設見学を通して古代の人々の暮らしや歴史を学び、体験することで地域にある施設の活動へ興味をもつきっかけをつくる目的で、20人が、発掘調査の話と展示室の見学、勾玉作り体験を行いました。

展示室の見学



初めに、セミナールームで、埋蔵文化財センターの業務内容を話しました。今までセンターの存在は知っていても、中まで入ることがなかった方が多く、とても関心が高く、熱心に説明を聞いていました。次に、館内見学をしました。多数の展示品や保存処理の様子に興味深く見学していました。見学時間が足りなくなり、駆け足での見学でしたので、少し物足りなく感じたようでした。

「初めて庵原高校の跡地に来ました。大昔の文化に触れて感激しました。」

「センターに初めて来たので、いろいろ説明を聞いて貴重な展示品を見ることができて良かったです。」



勾玉作り体験



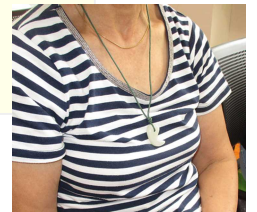
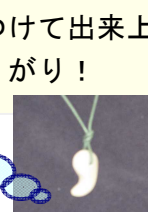
勾玉の形や材料、作り方等について話を簡単にしました。

第1段階では、時間をかけて大まかな形を作りました。納得する形になるまで集中して取り組んでいました。第2段階では、表面のキズを取りながら、多少の形を補正していきました。分からないときなどは、気軽に質問をして唯一無二の勾玉を作ろうと意欲的でした。第3段階は水をつけながら表面をつるつるにしました。紐をつけて出来上がり！

「勾玉作りが楽しくでき、やはり手を動かす作業、体験は楽しいです。」

「勾玉作りは関心があり、出来上がりは上手ではありませんが、作ったことで満足でした。」

「勾玉作りの体験が楽しく、夢中になりました。」



担当者の感想

「他の地域にはない蒲原地区のみにある施設の活動を知ってほしいという目的は、受講生が本物の文化財に触れることができ、十分に達成できたと感じました。展示室等の見学は、講師(専門家)の方から、わかりやすく丁寧な説明を受けることができたことに感激していました。勾玉作りは、力のかけ具合で勾玉の形が変わっていくので、オンリーワンのものが出来上がったという達成感を味わうことができました。講師の方は、いつでも話しかけやすい雰囲気を作っていただけだったので、誰も取り残されることなく、全員で一つのことに取り組むことができました。」

